

令和5年度 学校評価について 静岡県西遠女子学園 教務部

学校評価は、経営計画や教育計画に基づいて行われる教育活動がどの程度機能しているのかを評価するためにを行います。その結果から、学校が抱えている課題を明らかにし、学校改善を進め、生徒をよりよく育成するとともに、学校の経営責任・説明責任を果たすためのものです。

学校評価には「自己評価」と「学校関係者評価」があります。「自己評価」は、教職員がアンケート(生徒・保護者・教員を対象に行うアンケート)などの結果を基に行います。「学校関係者評価」は、学校関係者(学識経験者や地域住民、PTA 学級委員)が自己評価の評価項目の内容、評価基準、評価結果等について、総合的に評価するものです。

静岡大学大学院教授であった山崎保寿先生のご指導を受け、経年変化を改革に活かすため、平成27年度からは項目・基準をほぼ同じにして実施してきましたが、令和2年度は、より指導改善につながる形を模索するため質問項目、評価の仕方を大きく変更し次のように致しました。

1. 「自己評価」の回答基準、評価基準は以下のとおりです。
 - ・アンケートの回答は5段階 「よくできた:5 ~ できなかった:1」
 - で行い、その平均値をもって評価ポイントとする
2. 保護者アンケート項目は、8つの指導項目についてそれぞれ具体的なアンケート項目について、自己評価と同じ5段階で評価していただきました。
3. 学校関係者評価委員会は年間3回実施し、自己評価について評価・助言をいただきました。自己評価と同じ5段階で評価していただき、その平均値をもって評価ポイントといたしました。

その主な内容を下記にまとめました。(詳細な数値は次頁)

領域	評価項目	自己評価	学校関係者評価 (評価)
生徒指導	生徒育成 品位	西遠生としてふさわしい振る舞いを意識できるよう心掛け指導し、一定の効果が得られた。さらに、生徒の自発性・自治力を高める指導をしていく。	低評価生徒の出来ていなかった内容を確認すれば、改善に役立つのではないかと。(4.43)
	安全教育 安全教育・健康	防災訓練・感染症対策・生徒の心のケアに注力した。心の健康については更なる対応をしていく。	心のケアへのさらなる充実を期待する。(4.14)
人間の育成	人間関係づくり 社会性	教員が連携し保護者と共に早期発見・解決を図っている。SNS などへの新たな対応も必要。姉妹ピア活動により生徒も人間関係力を育てている。	生徒向けアンケートの文言が現行のもので意図が通じているのか再確認を。(4.21)
	主体性の育成 公共心・学校行事・ 部活動	21世紀型スキルの内容を確認し、伸ばす指導を行ってきた。美化意識では掃除の時間は良好であるが、それを日常生活にまで広げていきたい。	主体性は大事な要素なので低評価の生徒をなくす取り組みにも期待する。(3.93)
学習と進路	意欲向上 内発的動機・国際教育	西遠国際カンファを中心として6年間を通じた国際教育の流れを生徒と教員で確認することが出来、新たな挑戦をする生徒も増えている。	国際活動の評価を「留学」に限らない方が現状と合うのではないかと。(4.50)
	学力向上 教科指導・学力向上・ 進学実績	低年齢からのスマホ普及等に伴い、まずは基本的な生活習慣の確立が基礎学力の定着につながる課題点と考え、今後も指導を行っていく。	意欲を持たせても成績が上がらないと評価が上がらないことに違和感あり。(4.00)
	指導力向上 教科課程・教員研修・ ICT教育	例年行っている校内研修に加え、学外の方に見ていただく研究授業も行い、授業力の向上に努めた。ICT 端末の活用は進められているが、より効果的な利用について検討していく。	種々の研鑽を積み教員の評価は高いが、自己満足にならぬよう更なる向上に期待する。(4.36)
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携 生徒育成・活動理解・ 広報	生徒の様子や学校の活動紹介を実施してきた。すべてをオンライン化するのではなく、対面や紙面でのやり取りも、意義を踏まえて効果的に残していきたい。	前期の分析が後期に活かされている。発信だけでなく双方向のやり取りが評価向上につながるのではないかと。(4.36)

令和5年度
学校評価

建学の精神	婦人の中に未来の人は眠れり
校訓	典雅 荘重 (強く 正しく 美しく)
教育目標	未来を拓く女性の育成

領域	目 標	評 価 項 目	達 成 目 標	自己評価 (5段階)		関係者 評価 (5段階)
				R4年度	R5年度	
生徒指導	I 生徒育成	(1)規律	①【教員の判断】規則・時間を守り規律ある集団生活をおくる指導	4.19	-	4.43
			②【生徒の判断】規則・時間を守り、規律ある集団生活をおくる	4.38	4.29	
		(2)品位	①【教員の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣いの指導	4.03	3.87	
			②【生徒の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣い	4.39	4.39	
			①【教員の判断】適切な挨拶の指導	3.92	3.84	
	②【生徒の判断】相手や状況に応じた、適切な挨拶	4.27	4.36			
II 安全教育	(3)安全教育	①【教員の判断】安全・防災の意識の向上指導	4.00	4.00	4.14	
		②【生徒の判断】非常時取る行動の理解	4.10	4.16		
	(4)健康	①【教員の判断】健康を向上するための連携した指導	4.00	3.77		
人間性の育成	III 人間関係づくり	(1) 社会性	①【教員の判断】人間関係把握・適切な対処	4.17	4.00	4.21
			②【生徒の判断】互いに高め合い、前向きな問題解決	4.23	4.22	
			①【教員の判断】リーダーシップとフォローシップの育成	4.11	4.10	
			②【生徒の判断】リーダーシップとフォローシップの育成	4.31	4.15	
	IV 主体性の育成	(2)公共心	①【教員の判断】姉妹掃除を含む校内美化の指導	3.94	4.10	4.50
			②【生徒の判断】校内美化を意識した掃除への取り組み	4.49	4.45	
		(3)学校行事	①【教員の判断】行事を通して21世紀型スキルを身に付けさせる指導	3.86	3.94	
			②【生徒の判断】行事を通じた主体的な取り組みと成長	4.30	4.28	
		(4)部活動	①【教員の判断】部活動の目標設定と適切な運営・指導	4.08	4.00	
			②【生徒の判断】部活動への目標をもった取り組み・成長	4.28	4.35	
学習と進路	V 意欲向上	(1)意欲向上・内発的動機	①【教員の判断】将来を見据えた進路の研究と指導	3.78	3.94	4.00
			②【生徒の判断】自分の将来や進路について考える	4.17	4.12	
		(2)国際教育	①【教員の判断】国際社会への関心を持たせる働きかけ	4.03	3.97	
			②【生徒の判断】将来留学してみたい	3.30	3.31	
	VI 学力向上	(3)教科指導	①【教員の判断】基礎学力を向上させる指導	3.67	3.35	4.00
			②【生徒のデータ】学力診断合格率	3	2	
		(4)学力向上	①【教員の判断】学習意欲をもたせる指導	3.56	3.45	
			②【生徒のデータ】GTZ:B2以上の生徒の割合	2	1	
		(5)進学実績	①【教員の判断】数値目標を見据えた学習指導	3.75	3.68	
	②【生徒のデータ】GTZ:A以上の生徒の割合	2	2			
VII 指導力向上	(6)教科課程	①【教員の判断】教科課程の振り返り・見直し・実践	3.94	4.03	4.36	
	(7)教員研修	②【教員の判断】研修を通じた指導力の向上	3.67	3.81		
	(8)ICT教育	①【教員の判断】ICT機器を活用した効果的な学習指導	3.97	3.87		
		②【生徒の判断】ICT機器の利用による理解の深まり	3.61	3.69		
保護者の連携・地域と	VIII 保護者・地域連携	(1)生徒育成	①【教員の判断】生徒の成長のための保護者と学校の連携	3.86	4.00	4.36
			②【保護者の判断】学校と連携した教育への取り組み	3.89	3.88	
		(2)活動理解	①【教員の判断】保護者に教育活動を伝える取り組み	3.92	4.03	
			②【保護者の判断】学校・学年・クラスの教育活動理解	3.97	3.87	
		(3)地域連携	①【教員の判断】地域に、学校や生徒の取り組みを理解	3.56	3.71	

*生徒指導 I 生徒育成 (1)規律 は近年良好な状況のため、今年度学校評価項目から外した項目。